

# 新春を迎えて

## —各会派の抱負—

3名以上で構成される会派について新年の抱負を掲載しています。  
各会派の構成については、最終面をご覧ください。



### 住み続けたい練馬区を目指して!

練馬区議会自由民主党 (15人)

新年明けましておめでとうございます。  
昨年、皇室にとつて41年ぶりの男子悠仁さまのご誕生のニュースは、日本国民にとつても誠に慶事でありました。国政においては、小泉前総理から安倍総理へと内閣が替わりましたが、前内閣同様に、民間でできるものは民間でという行財政改革にまい進することを期待しております。  
さて、練馬区議会自由民主党は、志村区長と共に行革を推進し、その効果として長年要望して参りました、家庭で子育てをしている方々への支援が、中学校までの医療費の無料化の実現へと踏み出せることになりました。また高齢者、障害者の方々の様々な負担増が生じておりますが、責任政党として、軽減策等を強く推進して参ります。  
また、本年は練馬区独立60周年を記念する素晴らしい年、区民の皆様とお祝いできることを喜ぶと共に、記念事業の成功を祈念致しまして挨拶とさせていただきます。  
本年も変わらぬご指導をよろしくお願い致します。

### 60周年を期して新たな練馬の構築を

練馬区議会公明党 (12人)

新年明けましておめでとうございます。  
昨年は、公明党の力強い推進により耐震診断の助成等が実施されるなど、安全・安心のまちづくりの施策が充実され、また小学校6年生までの入院費の無料化の実現をはじめ、子育て支援策が拡充されました。  
私たち公明党は更に「子どもの医療費無料化」「安心で楽しい放課後子どもプランの創設」「安全・安心のまちづくり」「民間住宅の耐震改修助成等の拡充・支援策」「高齢者にやさしいまちづくり」「花とみどり溢れる環境都市練馬の推進」等の署名活動を地域でご協力いただき、区に要望してまいりました。これからも、区民の皆様の声を的確に受けとめ行政に届け、実現してまいります。  
本年は練馬区独立60周年を迎えます。この佳節を契機に新たな練馬の構築に取り組み、住みやすさNo.1の練馬を目指し全力で頑張ってまいります。本年も区民の皆様のご更なるご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

### 大増税・負担増から区民生活を守れ

日本共産党練馬区議団 (7人)

新年あけましておめでとうございます。  
昨年は、高齢者をはじめとした住民税大増税と介護保険、国保料値上げによる負担増、医療改悪などと「構造改革」による激痛が連続した年でした。  
安倍政権も、庶民への大増税と負担増を引き継ぐ一方、史上空前の利益を上げる大企業には大幅減税し、再び「戦争する国づくり」を進めています。  
いま、「暮らしを守る防波堤」の役割を練馬区が行うのか、それともこれまでのように国・都と一体になって悪政を推進するのかが、厳しく問われています。  
日本共産党練馬区議団は、区民要求アンケートに答えていただいた二千八百通を超える皆さんの切実な要求に応え、中学三年生までの医療費全面無料化、個人住宅への耐震改修工事費助成の実現、介護と障害者福祉に関わる課題などを前進させるため、全力で頑張る決意です。「確かな野党」として奮闘することを誓いまして、挨拶とします。

### 区民と共にあゆむ区政を目指して

民主新緑・無所属議員団 (6人)

新年明けましておめでとうございます。  
昨年は生活に関わる改革が多く行われました。恒久減税の廃止や医療費や年金・介護保険料の値上げなど区民の負担が大きく増加した一年でもありました。更にいじめによる自殺の連鎖や児童虐待の相談件数が3万4千72件と過去最高を更新するなど子どもをめぐる悲しい事件が続発した年でもありました。一方で戦後最大の景気回復とも言われていますが国の調査でも56%の世帯が「生活が苦しい」と答え所得の二極化が進んでおります。また子育て世代の女性の労働環境などは厳しく練馬区の保育園待機児童も依然200名を超えています。元気高齢者の就業環境も厳しい状況です。すべての世代が将来に夢と希望を持っていないのが今の社会の問題だと私たちは考えています。私たちは将来への希望と安心に満ちた区政を実現するために徹底して無駄を省き、区政、区議会への区民参加を進め、皆様と語り合いながら共に新しい時代の区政を実現してまいりたいと思っております。

### 拡がる不安と格差に抗してがんばる

社民党・市民の声ねりま (3人)

新年あけましておめでとうございます。  
国は財政再建の名の下に社会保障を切り下げ、そのツケを自治体に押し付けています。介護保険では、介護の社会化の理念が揺らぎ家族介護が復活しようとしており、障害者自立支援法では自己負担の導入が障害者を苦しめています。そして医療制度改悪が待ち構えています。税制改定では大幅な負担増がとりわけ高齢者を直撃しました。好景気といわれても区民のくらしは決してよくなるはず、様々な「不安」と格差が拡大しているのが実態です。  
練馬区は、国に対してはつきりものを言うとともに、財政の好転を生かし、長期の視野に立ちつつ区民のくらしと福祉を守るために最大限の努力をしなければなりません。  
憲法や教育基本法改悪など「戦争のできる国」への動きが強まっています。平和こそすべての基礎です。私たちはそのために全力をつくすとともに、くらし、福祉、教育、環境をはじめ、皆さんの声を生かすために奮闘します。

### 情報公開と区民参加で議会改革を

生活者ネットワーク (3人)

昨年の介護保険・医療制度などの改革は、国民の生活基盤を揺るがす厳しいものでした。私たちは不安が広がる今こそ、一番身近な区政を、区民の立場で一人ひとりの尊厳を大切にす生活中心の政策に切り替えていく改革が必要と考えています。  
また、議会においても改革は緊急の課題です。練馬区では議員が委員会などに出席した際支払われる「日額旅費」が半額の3000円に減額されました。しかし、私たちは廃止を求め、今後支払われるものを供託することに決めました。私たちは議会を見えやすくわかりやすい参加型の開かれたものにするため、すべての情報の公開を進め、議会基本条例の制定をめざして議会改革に取り組みます。  
今年練馬区が板橋区から独立して60年目です。国や都の制度に振り回されず、区民に脈々と受け継がれる自主自立の精神を更に発展させ、練馬区の自治を進めていきます。